

令和4年7月28日

愛媛大学

## 「地域レジリエンス学環」の設置及び 「理工学研究科」の改組(組織改編)について (記者説明会の開催)

このたび愛媛大学では、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査等を経て、本学の全研究科が連係した大学院「地域レジリエンス学環」(修士課程)の設置及び理工学研究科の改組(組織改編)を行うこととなりました。

つきましては、下記のとおり記者説明会を開催しますので、ご取材くださいますよう、お願いいたします。

### 記

日時： 令和4年8月4日(木) 13時30分~14時30分

場所： 愛媛大学本部 5階 第1会議室

会見者：	学長	仁科 弘重
	理事・副学長	宇野 英満
	理工学研究科長	高橋 寛

### <お願い>

事前に取材の参加者数を把握するため、取材に来られる場合は8月2日(火)までに電話又はメールにて下記担当までご一報ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場ではマスクの着用及び手指消毒等にご協力願います。

本件に関する問い合わせ先  
(記者説明会の開催について)

総務部広報課

Tel : 089-927-8968

Email : koho@stu. ehime-u. ac. jp

(地域レジリエンス学環設置の内容について)

総務部評価 IR 課

Tel : 089-927-8292

Email : resilience@stu. ehime-u. ac. jp

(理工学研究科改組の内容について)

工学部事務課総務チーム

Tel : 089-927-9676

Email : koushomu@stu. ehime-u. ac. jp

※送付資料3枚(本紙を含む)

# 大学のもつ資源を結集した新しい形の大学院（研究科等連係課程） 愛媛大学大学院 地域レジリエンス学環（修士課程）

## 養成する人物像

ICT・データ活用及びレジリエンス向上の素養と能力を身に付け、自然災害や少子高齢化が進む地域社会において持続可能な地域づくりに貢献できる人材

■募集人員：6名 ■専任教員：28名 ■学位：修士(学術)

## 地域のレジリエンス向上に資する愛媛大学の新たな「教育の柱」



主たる学位の分野に係る研究科

連係協力研究科

人文社会科学研究科

教育学研究科

理工学研究科

農学研究科

医学系研究科

修学者の幅広い専門性や意欲に対応できる全学的な教育体制

愛媛大学内の協力センター

地域協働センター（西条・南予・中予）、データサイエンスセンター、防災情報研究センターなど

## 想定する入学者のイメージ

一定の専門性を修得済みであり、これに加えて、持続可能な地域社会の実現に役立つ人材となるために更に学びの幅を広げ、俯瞰力を身に付けたいと考えている人物

社会人  
大学卒業者

## ◇修了後の活躍分野

公務員（国、自治体）、民間企業、NGO/NPOなどの様々な業界における以下のような役割が予想されます。

- リスクと地域発展性をデータに基づいて科学的・数量的に評価しつつ、**持続可能な防災まちづくりを立案**
- データ・AIを活用しつつ多様な取引先との協働により**柔軟性のあるBCPを策定・実践**し、就職先企業のレジリエンス向上に貢献
- 複数のコンピテンスを活かして、環境や福祉などと連携した**防災を通して地域参画型のまちづくりの支援および実践を先導**
- 農家や水産業従事者のニーズを丁寧に汲み取りながら、ロボットやICTの活用、他業種との連携促進等の支援を通して、**自然災害や気候変動に対してしなやかな農水産業の実現に貢献**
- 地域の魅力の発見、多様な人々との人間関係を深めることができる能力を活かして、**地域コミュニティの魅力を最大化しつつ、地域防災力を向上させていく事業を地方において展開**
- 地域住民等のステークホルダーとの対話を通して、ICTを駆使した展示物とその活用方法を教育効果を観点から検証・改善し、**防災に関する効果的な学習環境を開発**

# 令和5年4月開設 愛媛大学大学院理工学研究科の改組について

柔軟で多様な教育研究環境のもと、高度な専門知識とトランスファラブルスキルを身に着けた高度理工系人材を育成

## <設置構想の経緯>

未来志向で社会・産業界が期待する高度理工系人材の育成  
 OVUCAな時代の中、未来のために新たな価値の創造・実現に貢献できる理工系人材が必要

○「Society 5.0」や「数理・データ駆動型社会」など新しい社会の実現には、広い視野をもち、柔軟で適応力の高い理工系人材の活躍が必要不可欠

### ◇多様な理工系人材が必要

- 多分野の協業が進む中、異なる視点・立場が与える様々な提案を理解し、それらから柔軟な発想・判断ができるコーディネーター・マネジメントリーダー的人材
- 深い専門力を持つ人材に加えて、グループで課題解決ができる人材
- 将来の地域産業を支える人材



愛媛大の修了生が、これまで以上に、自律して社会で活躍できる力を身に付けてもらうために



## 愛媛大学の強みを活かした教育改革としての改組

- 地域貢献、地域産業イノベーション機能強化の取組
- 数理・データサイエンス分野における人材育成の取組
- リサーチユニット制度による複合分野創生の取組
- 先端研究拠点、共同利用・共同研究拠点の形成

## <育成する人物像>

「理工学分野における高度な知識・専門技能」・「学識・論理的思考力・俯瞰的視野に基づく課題探求力・解決力」・「高い教養と学識からなる豊かな人間力・発信力」を涵養し、「柔軟な思考と高い適応力のもと、変貌する社会と地球環境を見据え、今日の科学・技術を継承し発展させるのみならず、未来のために新たな価値の創造・実現に貢献できる高度理工系人材」

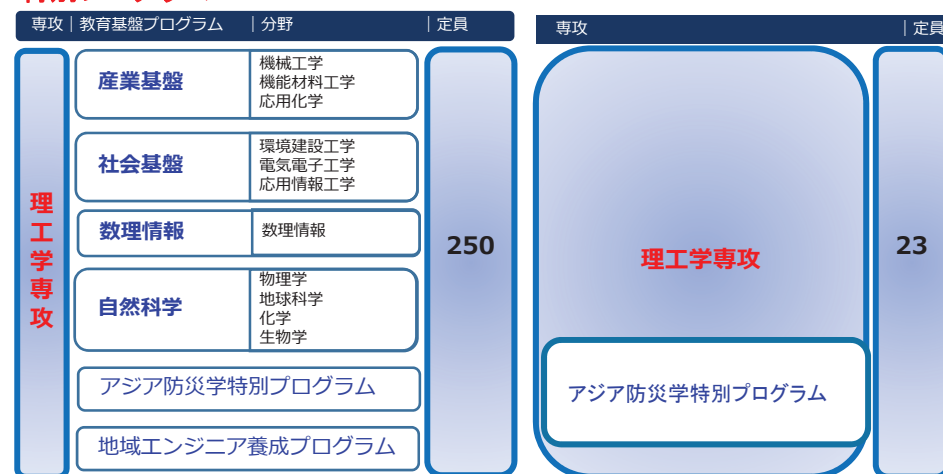
## <修了後の進路>

学位：修士(工学)、修士(理学)、修士(数理情報学)、博士(工学)、博士(理学)、博士(数理情報学)

民間企業、公務員、教育研究者

高い学識・技能、豊かな人間性、俯瞰的な視野を有しており、自身が所属する地域・国内外の企業や国、地方自治体において、持続可能な社会の構築や産業の活性化に貢献する新たな課題や実施すべき研究課題を提案して、その解決に取り組むことができる技術者・研究者を輩出

## 博士前期課程1専攻4教育基盤プログラム+ 2特別プログラム 博士後期課程1専攻



## <教育の特徴>

- 博士前期課程：社会や産業の変革に伴って、未来志向で博士前期課程を修了する学生の活躍を考えた人材モデルを定義し、1専攻の下に、4教育基盤プログラムと2特別プログラムを設置
- 博士後期課程：1専攻及びアジア防災学特別プログラムを設置
- オープンで学修選択の自由度が高い柔軟な教育課程・教育体制
- 理工系人材として必須のスキルを涵養する共通科目(専攻共通科目群及びプログラム共通科目群)と自由選択の専門科目群によって、専攻分野を超えた学修が可能(博士前期課程)
- 柔軟な研究指導：異分野教員の研究指導への参画(副指導教員やインターディシプリナリーアドバイザー)(博士前期課程)
- 自律した技術者・研究者が要する高度なトランスファラブルスキルを涵養する専攻共通科目(博士後期課程)

博士前期課程  
カリキュラム

専攻共通科目

プログラム  
共通科目

専門科目

博士後期課程  
カリキュラム

専攻共通科目

専門科目：  
博士特別研究